



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁  
東6丁目7-12  
電話748-5159  
FAX 748-5179

### 3回目のワクチン接種

## 2月11日から集団接種開始

1月27日(木)、市議会・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(松本・うづき議員所属)は、14日に提出した「オミクロン株感染拡大に伴う緊急要望」について市の回答を受け、質疑・意見交換を行いました。

市からは、総合政策部長、総務部長、健康保険部長、環境経済部次長、病院事務部長が出席しました。

主な質疑等の内容は次の通りです。

市の3回目接種1・4%

国の対応の遅れ重大

「追加ワクチン(3回目)の可能な限りの前倒し要望」

について、医療従事者等を中心に接種していますが、全市民に対する接種率は1・4%(23日現在3163人)です。国の対応の遅れが大きく影響し、接種が進まない状況となっております。

コールセンター

10回線増やして50回線に

接種日は、65歳以上の方は、2回目の接種が7か月以降で、65歳未満の方は、8か月以降となっております。

予約方法、前倒し接種に対

応するため、65歳以上の方はコールセンター、LINEアプリ、インターネットから予約できますが、65歳未満の方はコールセンターのみです。電話は40回線から50回線に増やして対応します。

1月以降、市内61の医療機関での接種体制を確保しました。集団接種会場は、2月11日から毎週金・土・日・祝日に消防本部とイオンモール春日部で実施します。ワクチンは、武田/モデルナ社製となります。

予約券発送分のワクチンは確保、4月以降は未定

ワクチン供給量は、ファイザー社製及び武田/モデルナ社製を合わせ、今までに発送した方の分は十分にまかなえる量となっておりますが、4月以降の供給予定等は国から示されておらず未定です。

市立医療センター

コロナ対応29床に増床

感染者等の対応について、市立医療センターは1月17日に5床から29床に増やしました。27日現在中等症4人、軽症者20人が入院しています。

自宅療養者の配食サービスは、県の要請に応じて最初の3日間は市が実施し、その後は県が行います。自宅待機者への配食を求めました。

支援・相談は、「感染症県民サポートセンター」(電話0570・783・770)が行っていますが、市でも専用電話を設置するよう求めました。事業者支援は、国の補助金により対応します。

接種券発送予定

2回目接種

6月1日～7月31日 発送済

8月1日～9月5日

2月14日発送予定

9月6日～12日 2月28日発送予定



# 気候危機と気候温暖化対策

## 春日部革新懇・総会&講演会

1月29日、平和・民主・革新の日本をめざす春日部の会(春日部革新懇)は、2022年総会を開き、新事務局長に角田たえ子さんが選出されました。

総会后、早稲田大学名誉教授の牛山積さんが「気候危機と気候温暖化対策」について講演しました。

2030年までに1.5度上昇の危険

1988年に設立されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)は気候変動を科学的に調べるため195の国・地域が参加して気象学者などの研究者が、最新の知見を反映した報告書をもつて報告してきました。



2013・2014年の第5次報告書では、「3度上昇すると大規模で不可逆的の反応(北極や南極の氷が完全に溶けることを想定。不可逆とは、元に戻せないという意)が起きる。2度までに抑えることが必要とされました。2021年の第6次報告書では、「人間の影響が大気及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と断定されました。

### 温暖化対策に

#### 後ろ向きの日本

そして、2度ではなく1.5度以下に抑えることが重要で、2020年からのCO2の残余枠は4000億トン。現在のCO2排出量は年約4000トンなので、このまま行くと、2030年には1.5度に達するとされました。

こうした科学情報を受けて、COP(条約締約国会議)において各国政府が地球温暖化対策の交渉を行ってきました。

1997年には「京都議定書」が採択されます。第一約束期間は、日本は目標を達成しますが、アメリカは離脱。その後の延長については、日本・アメリカ・ロシア・カナダは反対しました。

2021年のグラスゴー気候合意では、①産業革命からの気候上昇を1.5度に抑えるための努力を追及

②温室効果ガス削減対策が講じられていない石炭火力発電所の段階的削減に向けた努力の加速③先進国から発展途上国への資金援助が達成できず遺憾の意表明④温室効果ガス排出削減の実施ルールが合意されず。

しかし、石炭火力発電所について日本の抵抗により段階的廃止だったものが後退したのでした。

### 地球温暖化対策に前向き

#### な政治への転換が必要

質疑応答で、日本の姿勢について問われた牛山さんは、「原発も石炭火力発電も推進しようとするこの国の政治を変えることが必要」と答えました。

休日の当番医

市立病院Tel.735-1261(土・日・祝の昼間と夜間毎日)内・外・婦 救急相談#7119または☎824-4199  
2/ 6(日) 内科系 花川内科クリニック(中央3-8-2) ☎752-3378 小児科系 グレース家庭医療クリニック(大倉610-10) ☎718-0107 外科系 梅原病院(小淵455-1) ☎752-2152  
2/ 13(日) 内科系 成松医院(上蛭田64-1) ☎763-5211 小児科系 田村クリニック(西金野井291-163) ☎745-1622 外科系 いかわ耳鼻咽喉科医院(大倉378-4) ☎746-8733